

# 山のこだま

夏号(第6号)  
2010年 7月2日発行  
発行責任者 原田高明  
Tel 0536-36-0678

うつとうしい梅雨の真最中ですが、山のおやじは、鳳来 山の家にとって一番忙しい夏を迎える準備に大わらわです

4月25日。晴れて民宿開業となり、初めて迎える夏。以前と変わらぬわけではありませんが、会員の皆様の故郷として、より長く継続しなければと自然に力がこもって来ます。

より自然と心地よく触れあう事が出来る環境づくり。より魅力的な食事づくり。草取り、草取り、草取り…。お客様が来なくとも、毎日は多くの作業で埋め尽くされます。沢山の汗もかき、やはり顎が上がります。でも、それもまた心地よいものです。作業の中に、自然との出会い、発見がてんこ盛りにあるからでしょうか。

やはり、自然の中に浸るのは良い事です。ここ、鳳来 山の家は誰に気兼ねする事もなく、自分(自分達)のペースで過ごすことのできる、会員の皆様の我が家であることを目指しています。

## 山の便り・1 ☆オープン

4月25日(日)無事にオープン。  
手作りの看板も立て、身が引き締まる  
思いです。  
前日の24日に、地元の源氏集落の方々  
を対象とした内覧会もおこない  
地域に溶け込み、鳳来 山の家が会員の  
皆様の故郷となるよう第一歩を踏み出す  
事ができました。  
民宿ですが、会員制(現在83名(家族))  
は継続します。また、原則、一泊、1組(グループ)は続けます。しかし、成り立たなくなり、  
継続できなければ意味はありませんので、より、魅力ある故郷“我家 鳳来 山の家”  
作りを行い、会員の皆様が気楽にご利用になれるよう頑張ることが一番と思っています



会員の皆様の笑顔とお会いできる日を楽しみにしています

## 山の便り・2

### ☆ ホタル

寒狭川にもホタルがいます。

一昨年までは、こんな大きな川にはホタルはないだろうと思っていました  
お隣の正子さんから聞き、夜出てみて  
初めて知りました。感激でした  
正子さんいわく、ホタルはゲンジボタルとの  
ことです。

ウッドデッキからが絶好のポイント

座ってしばらく眺めていたいものです。昨年は数十匹ぐらい見ましたが、今年は遅い時間(午後10時半過ぎ)もあって昨年のように沢山見る事はできませんでした  
ここでは乱舞しているとはいきませんが、淡い光の点を追っていると、幻想的な  
雰囲気を十分楽しめると思います

残念ながら写真の技術がありませんので写す事はできませんでした。でも、やはり生です。見に来られるなら、6月下旬ごろ。今年は今(7/1 時点)も飛んでいますが



## 山の便り・3

### ☆ 岩つつじ

5月下旬から6月上旬にかけて、ここ  
源氏で多く見られます

岩つつじは、岩のくぼみに残った  
わずかな土に苔がはえ、水分を蓄えて  
くれる中、少しの養分で生きています  
岩つつじの敵は大水、そして人間です  
源氏橋から見る、ひときわ大きな紅岩は  
かつては、岩つつじで燃えるように赤く  
染まり名前がついたとのこと

しかし、大水と、心ない人間が持ち去ることで、燃えるような紅色に染まった姿は  
もう見ることができなくなりました。残念です…

でも、岩にしがみつき必死に生きる岩つつじは、まだまだ、私たちを楽しませてくれます



## お願い・ペーパー版「山のこだま」の発行回数変更について

現在、会報はメール版、ペーパー版とも四半期に1回発行していますが、  
ペーパー版につきましては、半期(1月、7月)に1回とさせていただきます  
大変申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします

☆ e-mailアドレス(携帯電話メール除く)をお持ちの方は連絡いただけます。 お送りいただいた方へはメール版“山の便りをお送りします

連絡先 hourai@home.email.ne.jp

※ このお便りは、鳳来 山の家会員の方でe-mail(携帯除く)未登録の方に送っています。不要の方、心当たりのない方は連絡をお願いします

連絡先 0536-36-0678(鳳来 山の家 : 担当 原田)